

## 第7回都市ビジョン講演会開催



2019年2月20日(水)、虎ノ門ヒルズフォーラムホールB(港区虎ノ門 1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー4階)にて、第7回都市ビジョン講演会「ニューヨークの文化・クリエイティブ産業に学ぶ、東京の未来—都市はいかにしてアート産業とともに発展するのか?—」(一般財団法人森記念財団主催)を開催しました。当日は237名の方にご参加いただきました。

小林重敬理事長のあいさつの後、基調講演、山中珠美(森記念財団副主任研究員)「産業として捉える文化」、引き続いて稲蔭正彦氏(慶應義塾大学メディアデザイン研究科委員長 兼 教授)より「アート産業のエンジン:多様性が生み出す化学反応」についてご講演いただきました。

後半の座談会「都市はいかにしてアート産業とともに発展するのか?」では、小林氏がモデレーターを務め、南條史生(森美術館 館長)、新井勝久(トリックスターエンターテインメント(株) 社長)両氏より話題を提供していただき、都市と文化について活発なやり取りが行われました。

なお、当日の資料については後日弊財団ウェブサイトへアップいたします。講演会の詳細については、作成予定の講演録をご覧ください。